



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月28日

上場会社名 株式会社 エンプラス 上場取引所 東  
 コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 (氏名) 堀川 裕司 TEL 048-253-3131  
 財務経理本部 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,947	△16.2	377	△55.7	313	△60.7	△90	ー
2020年3月期第1四半期	8,286	3.3	852	19.7	798	△13.1	630	24.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 203百万円(ー%) 2020年3月期第1四半期 △7百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△7.35	ー
2020年3月期第1四半期	49.91	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	54,597	49,804	90.0	4,011.03
2020年3月期	54,996	50,049	89.7	4,002.13

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 49,142百万円 2020年3月期 49,344百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	15.00	ー	15.00	30.00
2021年3月期	ー				
2021年3月期(予想)		15.00	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日(2020年7月28日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界規模で拡大している影響により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	18,232,897株	2020年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	5,980,971株	2020年3月期	5,903,371株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	12,310,126株	2020年3月期1Q	12,629,667株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通しについては、現時点において合理的な算出が困難であるため未定としております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）今後の見通し」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2020年7月28日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 今後の見通し .....	3
(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を背景に、各地域個人消費が落ち込むとともに、サプライチェーンの混乱が生じ、景気は大きく減速しました。

また、米中貿易摩擦の長期化に伴い、生産拠点の見直しなどサプライチェーン再構築の動きが見られます。わが国経済は、緊急事態宣言解除により個人消費は下げ止まりましたが、輸送機器関連を中心に輸出は低迷し、先行き不透明感が増しており、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、更なる成長を目指すため、「足場を固める」を今期の経営基本方針とし、グローバル競争の激化を始めとする環境の変化に迅速に対応することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は6,947百万円（前年同期比16.2%減）となり、営業利益は377百万円（前年同期比55.7%減）、経常利益は313百万円（前年同期比60.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は90百万円（前年同期は630百万円の四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 「エンプラ事業」

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、自動車やOA機器の生産・販売が大幅に落ち込んだことを受けて、自動車用部品、プリンター用部品、その他エンプラ製品の販売は低調に推移しました。なお、当該エンプラ事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれています。この結果、当連結会計年度の売上高は2,341百万円（前期比29.8%減）、セグメント営業損失は514百万円（前年同期は216百万円のセグメント営業損失）となりました。

#### 「半導体機器事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー向けが好調に推移しました。一方で新型コロナウイルス感染症の拡大による自動車の生産・販売の大幅な落ち込みより車載向けは低調に推移し、モバイル向けはスマートフォンの販売の減少などを背景に需要が減少し、販売は低迷しました。この結果、連結会計年度の売上高は3,588百万円（前期比5.6%減）、セグメント営業利益は590百万円（前期比21.8%減）となりました。

#### 「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、5Gなどの次世代高速通信用途の引合いが引き続き増加傾向にあり、ハイエンドやミドルエンド製品の販売が好調に推移しました。LED用拡散レンズは、市場の競争の高まりを受けて受注が減少しました。この結果、当連結会計年度の売上高は1,017百万円（前期比11.4%減）、セグメント営業利益は302百万円（前期比4.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は54,597百万円となり、前連結会計年度末比399百万円の減少となりました。流動資産につきましては362百万円減少しました。主な変動要因は有価証券で3,000百万円、未収還付法人税等で118百万円、原材料及び貯蔵品で98百万円増加したものの、現金及び預金で3,261百万円、受取手形及び売掛金で458百万円減少したことによるものです。固定資産につきましては37百万円減少しました。主な変動要因は投資その他の資産で212百万円増加し、有形固定資産で180百万円、無形固定資産で68百万円減少したことによるものです。

負債は4,792百万円となり、前連結会計年度末比で154百万円の減少となりました。流動負債につきましては293百万円減少しました。主な変動要因はその他で272百万円増加したものの、買掛金で289百万円、賞与引当金で240百万円、未払金で77百万円減少したことによるものです。固定負債につきましては139百万円増加しました。主な変動要因は繰延税金負債で98百万円、転貸損失引当金で94百万円増加したことによるものです。

純資産は49,804百万円となり、前連結会計年度末比244百万円の減少となりました。主な変動要因はその他有価証券評価差額金で366百万円増加し、利益剰余金で275百万円、自己株式で197百万円、為替換算調整勘定で95百万円減少したことによるものです。その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は90.0%となり、前連結会計年度末比で0.3ポイント増加しております。

(3) 今後の見通し

2021年3月期見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による世界経済の減速が懸念され、予断を許さない状況が続くことが予想されます。

そのような状況の中、当社では評価技術の高度化による顧客提案力の強化や生産体制の最適化による原価低減の推進、各種技術・新製品の早期事業化に注力してまいります。

また、2021年3月期見通しについては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算出することが困難なことから、現時点では未定としています。業績予想が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

(現時点の当社グループの対応について)

当社グループでは、従業員の安全を第一とし、感染リスク低減に向けて不要・不急な出張、面談等の延期または中止、在宅勤務の実施などの対応を行っております。また、日本やその他の国・地域におけるオフィス・生産拠点は各国政府及び地方自治体の指導・要請に基づいた対応を今後も行ってまいります。

(財務への影響について)

当社は、現時点では十分な現預金残高を有しており、今後の事業活動に影響を与えることはないと考えております。

(事業への影響について)

感染拡大に伴い、各国政府や地方自治体の要請等により事業活動及び行動の制限が強化された場合、工場の操業を一時的に停止することや、サプライチェーンの分断により資材の調達や製品の出荷に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	24,273	21,011
受取手形及び売掛金	7,053	6,594
有価証券	—	3,000
製品	933	983
仕掛品	723	721
原材料及び貯蔵品	1,535	1,633
未収消費税等	691	581
未収還付法人税等	1,113	1,231
その他	585	788
貸倒引当金	△11	△10
<b>流動資産合計</b>	<b>36,898</b>	<b>36,536</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,896	2,856
機械装置及び運搬具（純額）	1,625	1,542
工具、器具及び備品（純額）	1,225	1,250
土地	6,788	6,786
使用権資産	704	649
建設仮勘定	497	472
<b>有形固定資産合計</b>	<b>13,737</b>	<b>13,556</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	343	318
のれん	221	206
その他	286	257
<b>無形固定資産合計</b>	<b>850</b>	<b>782</b>
投資その他の資産	3,509	3,722
<b>固定資産合計</b>	<b>18,098</b>	<b>18,061</b>
<b>資産合計</b>	<b>54,996</b>	<b>54,597</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,374	1,085
リース債務	206	192
未払金	701	624
未払費用	557	541
未払法人税等	388	458
賞与引当金	540	299
役員賞与引当金	30	4
転貸損失引当金	—	27
その他	284	556
流動負債合計	4,084	3,790
固定負債		
リース債務	490	460
退職給付に係る負債	68	73
繰延税金負債	168	266
転貸損失引当金	—	94
その他	135	107
固定負債合計	863	1,002
負債合計	4,947	4,792
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,563	7,563
利益剰余金	49,358	49,083
自己株式	△15,436	△15,633
株主資本合計	49,565	49,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	359
為替換算調整勘定	△210	△305
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△221	49
新株予約権	306	304
非支配株主持分	398	357
純資産合計	50,049	49,804
負債純資産合計	54,996	54,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,286	6,947
売上原価	4,589	4,173
売上総利益	3,696	2,774
販売費及び一般管理費	2,843	2,396
営業利益	852	377
営業外収益		
受取利息	44	17
受取配当金	9	9
スクラップ売却益	17	12
補助金収入	—	19
その他	21	15
営業外収益合計	92	75
営業外費用		
固定資産賃貸費用	5	3
持分法による投資損失	50	79
為替差損	82	45
その他	7	10
営業外費用合計	146	139
経常利益	798	313
特別利益		
固定資産売却益	15	1
投資有価証券売却益	—	35
新株予約権戻入益	—	1
特別利益合計	15	38
特別損失		
減損損失	1	25
固定資産売却損	8	0
事業再構築費用	—	67
転貸損失引当金繰入額	—	96
その他	0	—
特別損失合計	10	190
税金等調整前四半期純利益	803	161
法人税、住民税及び事業税	246	217
法人税等調整額	△86	16
法人税等合計	159	234
四半期純利益又は四半期純損失(△)	643	△73
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	630	△90



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	643	△73
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	366
為替換算調整勘定	△662	△93
持分法適用会社に対する持分相当額	0	3
その他の包括利益合計	△651	276
四半期包括利益	△7	203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16	180
非支配株主に係る四半期包括利益	8	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式77,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が197百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が15,633百万円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。